

第76回大分県発明くふう展
作品説明書

記入不要

【作品名】 自分のそばで知らせてくれるお風呂水位センサー

【発明のポイント】(発明のきっかけ、特徴、くふうした点など)

(きっかけ)水位センサーはセットしても風呂場で鳴るので聞こえず水をあふれさせてしまった
 (くふうした点)

- ・センサーからの信号を電波で、自分のそばの受信機まで飛ばすようにした
- ・市販のワイヤレスチャイムの送信機に、開発した基板を搭載して改造製作した
- ・元々の機能も利用し、風呂場で高齢者が人を呼ぶためのボタンもつけた

【使い方・説明図】(絵や写真などを使用してもかまいませんので使い方をわかりやすく説明してください。)

- ①まずセンサーの水気をよくティッシュ等で拭き取る
- ②受信機と送信機の両方の電源を入れる
- ③送信機は風呂のフタ(または縁)に置き、センサーを希望の高さにたらしめてセットしてから水を入れる



◆作品制作者◆

氏名	伊藤 健太(いとう けんた)	学校名	大分県立国東高等学校 (2年)
氏名	河野 直人(こうの なおと)	学校名	大分県立国東高等学校 (2年)
氏名		学校名	